

県南保健所感染症情報

令和7年 第 11 週

令和7年3月10日 ~ 令和7年3月16日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況				国・県・県南 発生状況			基準値			
		県南保健所				第 11 週			警報レベル		注 意 レ ベル	
		9 週	10 週	11 週		全国	長崎県	県南保健所	開始	終息		
	インフルエンザ定点	0.75	0.25	0.00		2.23	1.33	0.00		30	10	10
	COVID-19	7.25	4.63	4.13		3.85	4.12	4.13				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	1.40	2.00	1.80		1.48	2.28	1.80				
	咽頭結膜熱	0.00	0.20	0.00		0.28	0.56	0.00		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15.40	警報 13.00	警報 17.80	警報	2.33	3.49	17.80	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	2.20	2.60	1.40		11.10	10.00	1.40		20	12	
	水痘	0.00	0.00	0.00		0.27	0.05	0.00		2	1	1
	手足口病	0.00	0.00	0.00		0.05	0.00	0.00		5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00	0.00	0.00		0.81	0.33	0.00		2	1	
	突発性発しん	0.00	0.00	0.20		0.21	0.33	0.20				
	ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.00		0.01	0.00	0.00		6	2	
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.00	0.00	0.00		0.04	0.02	0.00		6	2	3	
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	4.00	警報 2.00	警報 7.00	警報	0.06	1.00	警報 7.00	警報	1	0.1	
	流行性角結膜炎	2.00	8.00	警報 5.00	警報	0.89	0.63	5.00	警報	8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00		0.01	0.00	0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00		0.03	0.08	0.00				
	マイコプラズマ肺炎	1.00	0.00	0.00		0.29	0.17	0.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスであるものに限る)	0.00	0.00	0.00		0.19	0.08	0.00				

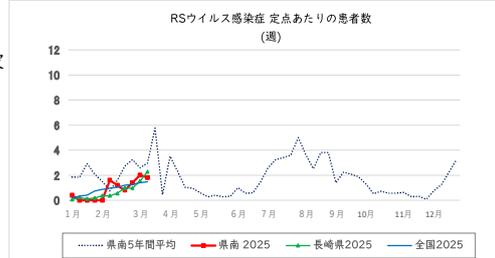
◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇ ※報告日掲載 (県作成速報:診断日掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第12週】 百日咳 患者 1名(10代・男性) 梅毒 患者 2名(20代・男性、50代・男性)

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆RSウイルス (RSV)感染症が増加傾向にありますので注意しましょう。

管内におけるRSウイルス感染症は2月より微増を繰り返しながら増加傾向にあります。感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染が主なものです。特に、家族内では、飛沫感染、接触感染を介して、RSウイルスが伝播しやすいので、家族内にハイリスク者(乳幼児や慢性呼吸器疾患等の基礎疾患を有する高齢者)が居る場合、罹患により重症となる可能性があるため、適切な飛沫感染や接触感染に対する感染予防策を講じることが重要です。飛沫感染対策としてのマスク着用や咳エチケット、接触感染対策としての手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底してください。



☆梅毒の報告がありました

梅毒とは梅毒トレポネマによる細菌性の性感染症です。＜感染予防＞性交渉の際はコンドームを適切に使用しましょう。ただし、コンドームが覆わない部分から感染する可能性もあるため、完全には予防することはできません。医療機関においては、梅毒の早期診断、早期治療、パートナーなどの受診勧奨や、他の性感染症の疑いで受診した人に対して積極的に梅毒の検査を行うことが重要です。啓発のポイントとしては、不特定多数の人との性的接触が感染リスクを高めること、オーラルセックスやアナルセックスでも感染すること、コンドームを適切に使用することで感染のリスクを下げられること、梅毒が疑われる症状が自然に消退したとしても医療機関を受診する必要があること、梅毒が治癒しても新たな梅毒の罹患は予防できないこと、などが挙げられます。先天梅毒を予防するには、梅毒スクリーニング検査を含む妊婦健診の推進、妊娠中に少しでも心当たりや疑わしい症状があった際の積極的な梅毒検査の実施、梅毒と診断された時の早期治療の実施、妊娠中の安全性な性交渉に関する啓発などが重要です。※梅毒は保健所で無料・匿名で検査ができます。感染の早期発見・治療のために気になる方は保健所へ相談・受検しましょう。(プライバシーは守られますので、ご安心ください)